

東日本大震災復興支援事業 あづまデュアスロン in 福島

第17回日本デュアスロン選手権 (2017/福島)

出場選手の皆さんへ

本大会は(公社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則と2017あづまデュアスロンin福島ローカルルールを適用して開催します。選手の皆様には、ルールを順守した上で、自己のパフォーマンスを最大限に発揮し、競技していただきたいと思ひます。

<大会会場>

あづま総合運動公園内スポーツイベント広場

〒960-2158 福島県福島市佐原字神事場1番地 TEL:024-593-1111 FAX:024-593-1114

http://www.azumapark.or.jp/?page_id=418

<注意事項・主要JTU競技規則とローカルルール>

[1] 選手受付・競技説明会

- ① エリート・U23選手・U19選手権: 11月11日(土) 会場:あづま総合体育館2階研修室
受付:14:40~15:00
競技説明会:15:00~15:30
- ② U15選手権: 11月11日(土) 会場:あづま総合体育館2階研修室
受付:15:40~16:00
競技説明会:16:00~16:30
- ③ エイジ・ビギナー・キッズ選手: 11月12日(日) 会場:開会式会場
受付:7:30~8:00
開会式:8:10~8:30
競技説明会:8:30~8:50

*エリート・U23選手・U19選手・U15選手については、ユニホーム規定に従い、ユニホームチェックを行いますので受付時に持参してください。

*ユニフォームについて

- ・JTU競技規則第33条、第35条、第36条、第61条、一部ITU競技規則準用)

http://www.jtu.or.jp/register/pdf/15uniform_elite-b.pdf

- ・ITUユニフォームルールに準じる*ITUユニフォームルールの簡易訳(英和対比) 215ページ

http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/ITUCompetitionRules2015_JPNver.pdf

- ・前面・後面にネーム(苗字)を表記すること(2014年から義務化)

*欠席・遅刻・不参加は次により事前連絡が必要です。(JTU競技規則第30条)

- ・事前連絡期日:10日(金)午後6時迄:

JTU事務局(Eメール jtuoffice01@jtu.or.jp 又は Fax03-5469-5403)に連絡の事。

- ・大会前日当日:11日(土)、12日(日)

技術代表:蓮沼 090-2957-2153

審判長:花井 090-2230-7866

連絡を行った上での欠席・遅刻であっても、スタートコールを最後尾といたします(スタート位置取りが最後となります)。また無断欠席した選手は出場することができません(ITU競技規則準用)。

選手権の部の選手についても出走確認のための受付が、7:30~8:00にあります。

[2] バイク・ヘルメットチェック *エイジ各カテゴリー、選手権出場者両方

12日(日): トランジション入口にて実施します。

エリートトランジションオープンは、9:30~10:30

チェックを受ける際、ヘルメットを着用した状態でバイクを持ち込んで下さい。

チェックを受けてから、トランジションへのセッティングを行ってください。

*エイジ・ビギナー・キッズのトランジションオープンは、7:30~8:00

[3] バイク(JTU競技規則第100条、第79条、第43条、一部ITU競技規則準用) *選手権出場者のみ

- 1) エアロバー先端は、前輪ハブ軸より15cm以上前に出ていないこと。さらに、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出ていないこと、市販の硬質ブリッジで連結されていること、もしくは、双方の先端が確実に接触していること。

ビニールテープ等による先端の連結は許可されません。バイクチェック時に外していただきます。

- 2) ホイールはスポークが少なくとも20本で、ディスクホイール、バトンホイールの類は禁止です。
- 3) サドルは最前面のポイントがチェーンホイール軸の中心を通る垂直線の後方、男子は5cm以上、女子は2cm以上とする。
- 4) 以上に適合しないバイクでは出場できません。

[4] ヘルメット (JTU競技規則第85条 競技規則準用)

バイク競技では、常にバイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い、正しく着用していなければなりません。

- 1) 着用するバイク競技用硬質ヘルメットは、次に掲げる基準に適合したものを奨励します。

- (1) Snell Memorial Foundation スネル記念財団
- (2) American National Standard Institute (ANSI Z90.4) 米国規格協会
- (3) U.S. Consumer Product Safety Commission (16CFR Part 1203) 米国消費者製品安全委員会
- (4) CEN European Standard (EN1078) CEN 欧州標準
- (5) The National Swedish Board of Consumer Policy スウェーデン消費者機構
- (6) 財団法人日本自転車競技連盟 (JCF)

- 2) ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などがあるヘルメットの使用は禁止します。

規定のヘルメットを被って全体的に(偏りなく)少し圧迫感があるくらいのもので、ストラップは、締めた状態で指が横に二本くらい入るきつさで。頭を前後左右に強く振って、ずれない程度に調整してください。

[5] ホイールストップ

オフィシャルホイールストップは設置していません。

各自準備したホイールは、バイク折り返し(トランジションエリア側)の指定された(WS)にレースが始まる前までに置いてください。その際に、レースNO・選手名(チーム名でも可但し、使用予定のレースNOは明記する)を明記し持参してください。競技終了後、速やかにピックアップをお願いします。

[6] バイク乗降車方法 (ITU 競技規則準用)

乗車の際、選手の足が乗車ラインを越えて完全に片足の裏全体が地面についていること。

降車の際、選手の足が降車ライン手前で完全に片足の裏全体が地面についていること。

[7] ペナルティ (ITU 競技規則準用)

ランの周回、フィニッシュに向かう直線コース左側にペナルティボックスを設置します。

違反を行った選手のレースナンバーはペナルティボックス入り口に掲示されます。

ラン競技中に選手自ら確認して入る。入らなかった場合は失格となります。

- 1) 不正スタート（フォルス・スタート）は トランジションエリア入口 で10秒停止
- 2) 乗降車ライン、ドラフティングの違反はペナルティボックスで10秒停止
- 3) 使用した競技用具を指定されたカゴに入れなかった場合はペナルティボックスで10秒停止
- 4) バイク、ランでコースを離脱し正しく復帰しなかった場合はペナルティボックスで10秒停止

[8] 周回遅れ対応 *選手権の部

バイク競技での周回遅れは競技停止（DNF）となります。U23選手がエリート選手にラップされた場合でもDNFとなります。U19、U15選手権においては、ラップによるDNFはありません。

※周回遅れとなった選手は、安全に十分注意し、減速停止し、競技中の選手に注意しながら徒歩もしくはゆっくりバイクに乗って、会場まで戻って下さい。

※周回遅れ等による男子選手と女子選手のドラフティング走行は禁止です。

[9] コース等の把握

競技者は、コース及び競技環境を事前に把握し、かつ、自らの責務でコースを確認し、競技を行うものとします。（JTU競技規則第23条）

※周回の指示、誘導は行いません。選手権のレースには先頭に対しては、ラップボードで周回を知らせます。

※公式バイク試走は有りません。また、スタート前に試走時間を設ける事が出来ませんので、各自で交通规则を順守し、コースの確認をお願い致します。

[10] ローカルルール

○周回について

周回チェックは自己責任となりますので、メーターや時計等で確認してください。距離が間違っていた場合は失格となります。

第1ラン

種目	距離	周回数
エリート U23/U19	5km	1.25 km × 4
U15	2.5km	1.25km × 2
エイジ	3.75km	1.25km × 3
ビギナー	2.5km	1.25km × 2
キッズ	1.25km	1.25km × 1

バイク

種目	距離	周回数
エリート U23/U19	20 km	4 km × 5
U15	12km	4km × 3
エイジ	20km	4km × 5
ビギナー	8km	2km × 4
キッズ	4km	2km × 2

第2ラン

種目	距離	周回数
エリート U23/U19	2.5 km	1.25 km × 2
U15	1.25km	1.25km × 1
エイジ	2.5km	1.25km × 2
ビギナー	2.5km	1.25km × 2
キッズ	1.25km	1.25km × 1

○ヘルメットステッカーは、前部、右側に貼ってください。バイクステッカーは、サドル下左側に貼ってください。

○レースナンバーは、ウェアに着ける際は前後に付けてください。レースナンバーベルトを使用する際は1枚のみでよいですが、バイクの際は後方、ランの際は前方に見えるように移動してください

○アンクルバンドはスタート前に、スタートエリア付近で受け取り、足首に装着してください。

○ヘルメットは、バイクをラックから外す前に被り、ストラップを締めてください。バイクフィニッシュをしたらバイクをラックに掛けてから、ストラップを外してヘルメットを脱いでください。乗車中、トラン

ジッション内移動中にストラップを外すことがないようにしてください。

○バイクは乗車ラインを越えてから乗ってください。降車はラインの手前で確実に降りてください。

○バイクスタート時の合流の際には、周回選手との接触に十分に注意して合流してください。

また、バイクフィニッシュ時は左側誘導コースに入って、トランジッションエリアに入るようにしてください。

○バイクコースにおいて、橋の上や道幅の狭い往復コースがあります。対向選手には十分に注意して走ってください

○バイクフィニッシュ後、バイクはハンドル掛けではなく、サドル掛けにしてください。

○キッズ、ビギナー、エイジすべて、バイクはドラフティング禁止とします。

ドラフティングとは、前の選手の前輪から10M以上離れて走ることです。集団で並んで走ることはないようにしてください。ドラフティング行為があった場合は、タイムペナルティ等を課す場合があります。

○ランの周回とフィニッシュは、セパレートとなっていますので間違えないように周回してください。

○給水は、第2ランスタート付近に設置してあります。バイクコースには給水はありません。

○エイジに制限時間を設けてはいたませんが、速い選手に抜かれる場合はドラフティングにならないように注意して走ってください。安全を最優先にして競技を進めますので、審判や関係者の指示があった場合は従うようにご承願います。

○ラン、バイク共に、キープレフトを順守してください。

○コースとトランジッションエリアへの導線を必ず確認してスタート準備をしてください。

[1 1] 応援活動（JTU競技規則第20条）

クラブ旗など応援用の旗・のぼり・ボードは、選手、観戦者のじゃまにならないよう関係者へ注意喚起をお願いします。また、大会広告バナーを隠さないよう配慮してください。大会設営物、公共設営物への貼り付け物は遠慮下さい。企業クラブの場合、事前に JTU 事務局まで確認が必要となります。

[1 2] 各種情報

- 1) JTU 競技規則 http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2006.pdf
- 2) 第17回日本デュアスロン選手権 HP <http://www.jtu.or.jp/duathlon/2017/index.html>

[1 3] その他

1) 宿泊情報

日本旅行宿泊のご案内

株式会社日本旅行東北 福島支店 問合せ窓口担当者：佐藤梨紗

メールアドレス：risa_sato@nta.co.jp

電話番号：024-522-6161（平日 10:00～18:00）

大会期間中は、近隣で多数イベントが開催され、宿泊施設が少なくなっております。

あづま総合運動公園近くの温泉街については、下記の HP を参考にしてください。

<http://www.f-onsen.com/>

2) 選手駐車場

選手の皆さんは、大駐車場に停めてください。

<http://www.azumapark.or.jp/?access=%e5%a4%a7%e9%a7%90%e8%bb%8a%e5%a0%b4>